

【事業名】 千葉県のトウキョウサンショウウオの分布と保全・啓発活動 （千葉県全域；分布調査、千葉県匝瑳市；保全・啓発事業） 【団体名】 千葉県野生生物研究会

令和2年度 生物多様性
保全推進支援事業
実績報告書別紙10-6

事業の背景・目的

・本会では1995年～2007年に千葉県全域のトウキョウサンショウウオの分布調査を実施し、県内では本種の産卵場所が水田耕作にともなう水辺の割合が90%を超え、里山に依存することを明らかにした。しかし昨今、開発による農地の消失や耕作放棄による産卵場所となる水辺の消失が本種の生息数を減少させる主たる要因となっている。そこで、本会では消失した水辺を掘削して産卵場所を再生することにより、新たな産卵の誘発や産卵数を増やすことに成功したので、県内でも生息密度が高い匝瑳市で耕作放棄地に水辺を再生するとともに、本種のシンポジウムや観察会を主催して啓発活動を推進させ、行政とも連携を図り、本種保全のモデルケースを構築する。

事業の内容

・事業アは、トウキョウサンショウウオの産卵時期に合わせて生息域と生息数の経年変化を調査し、本種の分布現状を把握する。事業イは、耕作放棄地に水辺を再生するとともに、特定外来生物のアライグマの侵入が認められた場合は、食害防止のため、電気柵を設置して侵入を防止する。事業ウは、本種のシンポジウムや観察会を主催して、地域住民や高校生との交流を深め、啓発活動を推進させる。

令和2年度

事業ア 分布調査事業 令和3年3月9日～令和3年3月31日
千葉県全域
事業イ 保全事業 令和2年7月11日～令和3年3月20日
千葉県匝瑳市
事業ウ 啓発事業 令和3年3月27日 敬愛大学八日市場
高等学校 第10回 房総のトウキョウ
サンショウウオ・ミニシンポジウム

令和3年度

事業ア 保全事業 令和3年6月1日～
令和4年3月31日
千葉県匝瑳市
事業イ 啓発事業 令和4年3月19日
敬愛大学八日市場高等学校
第11回房総のトウキョウサン
ショウウオ・ミニシンポジウム

令和4年度

事業ア 保全事業 令和4年6月1日～
令和5年3月31日
千葉県匝瑳市
事業イ 啓発事業 令和5年3月18日
敬愛大学八日市場高等学校
第12回 房総のトウキョウサン
ショウウオ・ミニシンポジウム

得られた成果

・県内の産卵数を調査した結果、新たな産卵地が見つかったものの、再確認できた地点は減少した。また、11か所で保全場所を再生した。そのうち、3カ所で産卵の誘発が見られ、4カ所で産卵数が増加し、事業の成果が顕れている。ただし、3カ所では産卵が見られなかったが、近くの水辺では2カ所で産卵が確認された。さらに、シンポジウムでは28名が参加者し、3月7日には地元住民の方と、3月18日には地元の高校生と保全地域内で自然観察会を実施した。本種は水田耕作に依存した典型的な里山生物である。そのため、本種の保全には溝を掘って新たに産卵場所を再生することが効果的である。今後もこの保全事業を他の地域でも実施するとともに、本種を主題としたシンポジウムや観察会を継続的に実践したい。

